

滋賀県の地震

令和6年(2024年)10月

目 次

1 滋賀県の地震活動

(1)震央分布図	-----	1
(2)概況	-----	1
(3)断面図	-----	2
(4)滋賀県で震度1以上を観測した地震の表	-----	3
(5)滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	-----	3

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動

(1)震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図	-----	4
(2)概況	-----	4

3 地震一口メモ

日本海側の海域活断層の長期評価 —兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖— の公表について	-----	5
--	-------	---

「滋賀県の地震」は彦根地方気象台における地震業務の一環として、県下の皆様に県内の地震活動状況をお知らせするとともに、防災知識の普及に努め、皆様のお役に立てることを目的とし、毎月刊行しています。

「滋賀県の地震」は上記目次で構成し、適宜地震活動把握のための解説資料や用語解説等を掲載します。
本資料に関する問い合わせは「彦根地方気象台（電話 0749-22-6142）」にお願いします。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

滋賀県内の震度情報発表地点は彦根地方気象台ホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/hikone/seismo/seismo.html>

本資料の震源要素及び震度データは、後日再調査の上修正されることがあります。

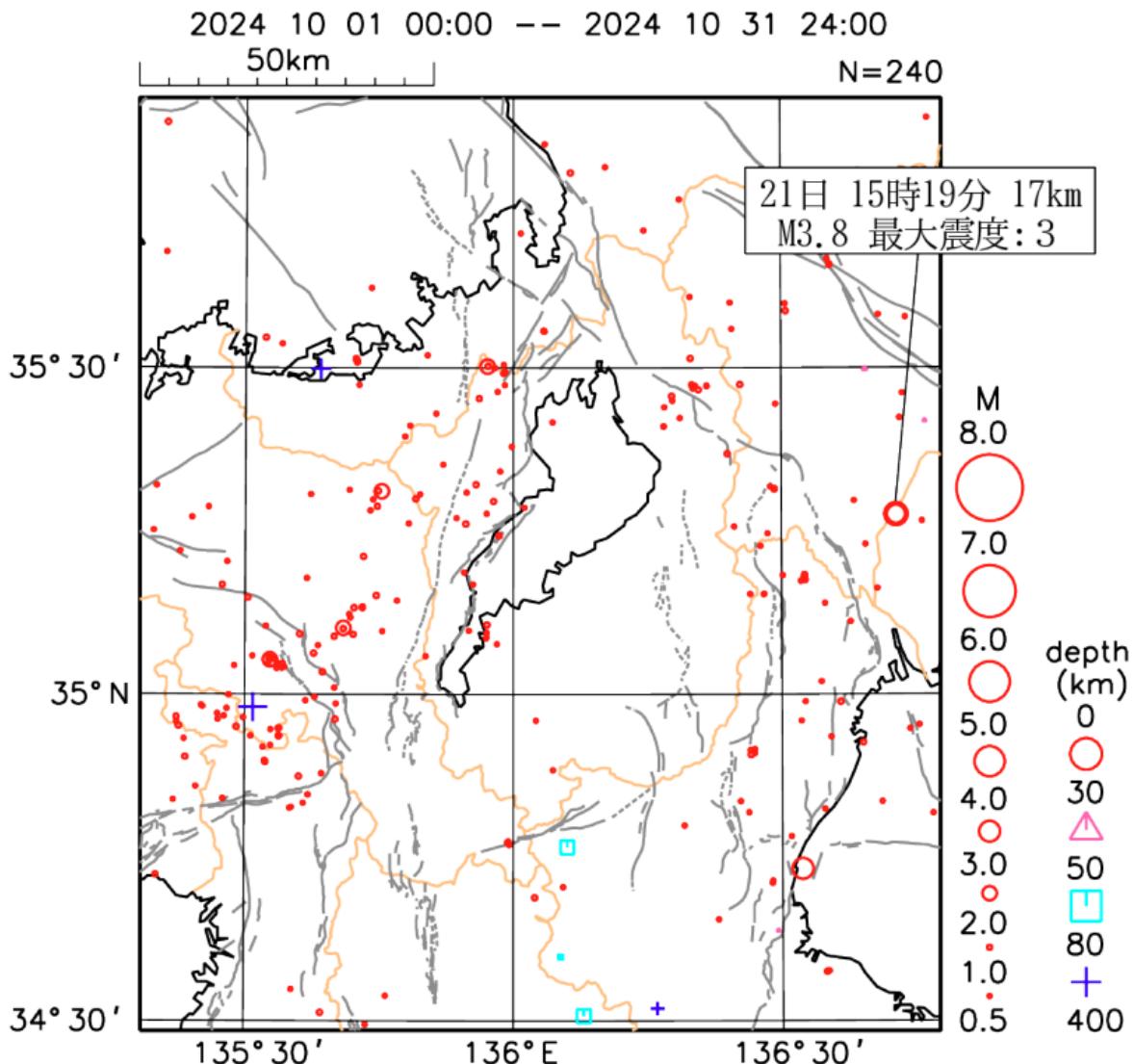
全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。以下のアドレス「地震・津波・火山」からお知りになりたい項目をクリックしてください。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>

彦根地方気象台

1 滋賀県の地震活動(令和6年10月)

(1)震央分布図



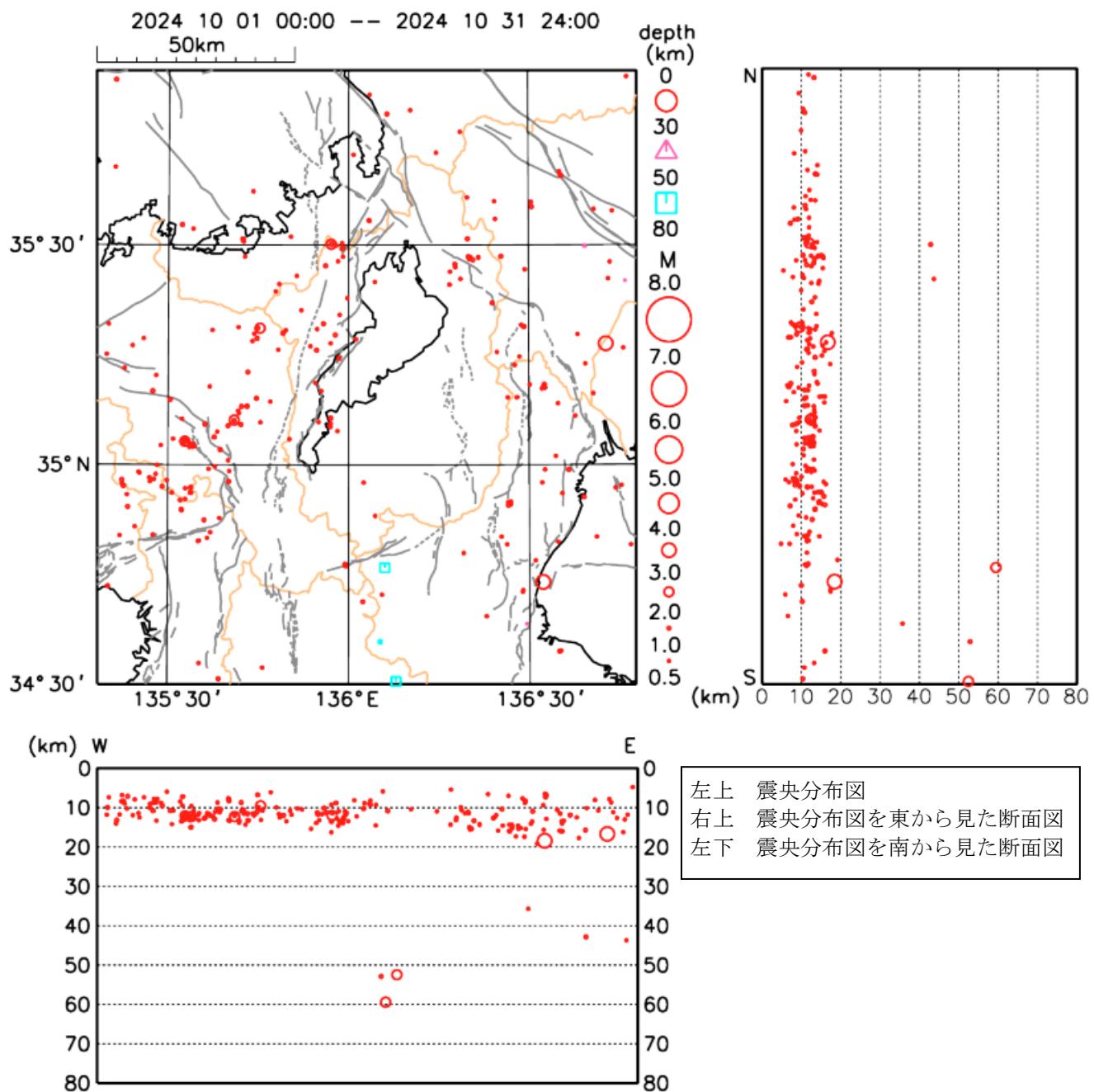
(2)概況

10月に震央分布図の範囲内におけるM2.0以上の地震は11回（前月11回）でした。滋賀県内で震度1以上の揺れを観測した地震は1回でした（前月0回）。

滋賀県内で震度1以上を観測した地震は、以下の通りです。

21日15時19分 岐阜県美濃中西部の地震 (M3.8) : 彦根市、高島市、米原市、近江八幡市、東近江市、愛荘町、竜王町で震度1

(3)断面図(深さ80kmまでの地震)



【解説】

深さ数km～約20kmに分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震(地殻内地震)、深さ約30km～約60kmに分布している地震は主として沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

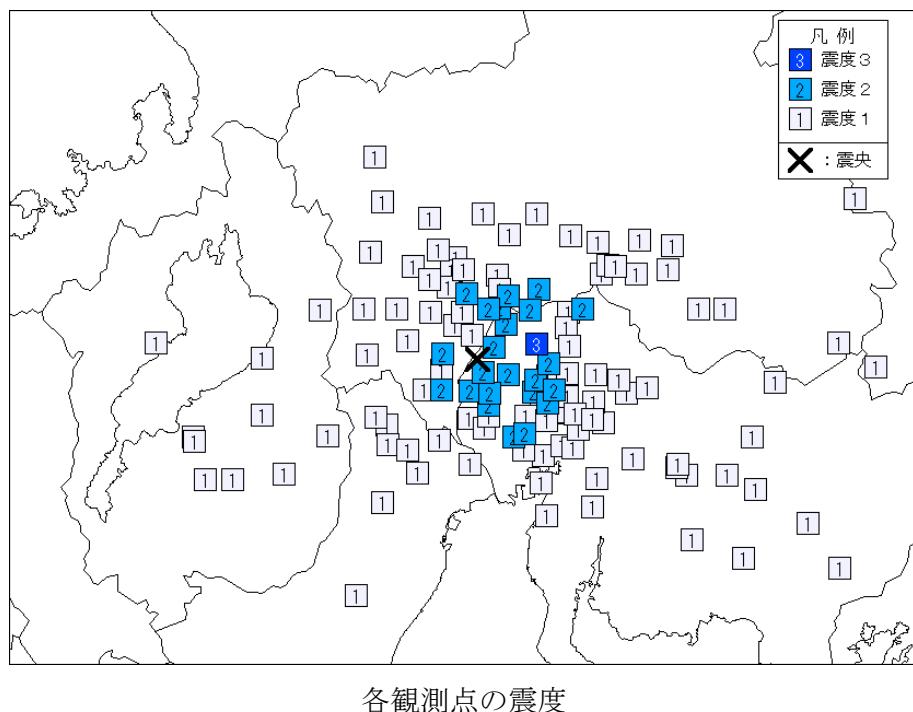
(4) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の表

発震日時	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度 (滋賀県内ののみ掲載)					
2024年10月21日15時19分	岐阜県美濃中西部	35° 16.5' N	136° 42.8' E	17km	M3.8
----- 地点震度 -----					
滋賀県 震度 1 : 彦根市城町, 高島市勝野*, 米原市長岡*, 愛荘町安孫子*, 近江八幡市桜宮町 近江八幡市出町*, 竜王町小口*, 東近江市君ヶ畠町, 東近江市上二俣町* 東近江市市子川原町*					

※ 太字の地点は気象庁の震度観測点、名称の末尾に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

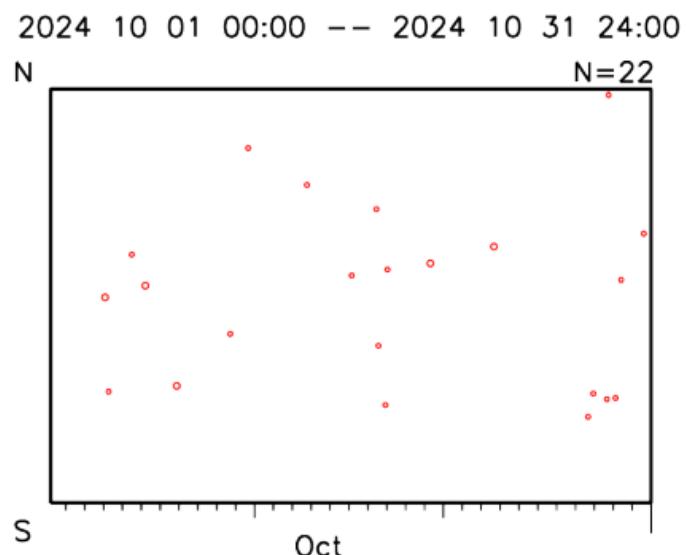
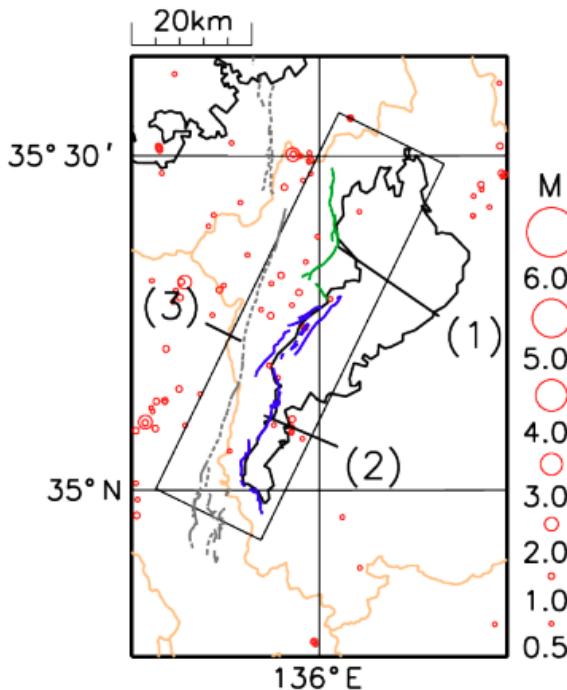
(5) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布

2024年10月21日15時19分 岐阜県美濃中西部 (M3.8)



2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動(令和6年10月)

(1)震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図(深さ30kmまでの地震)



(上) 震央分布図

深さ30km以浅の地震を表示。断層帯に沿った矩形領域内の地震の活動経過を右に表示。

図中の太線は、断層帯の概略位置。線種は活動の存在の確実度(実線部>破線部)を表しています。

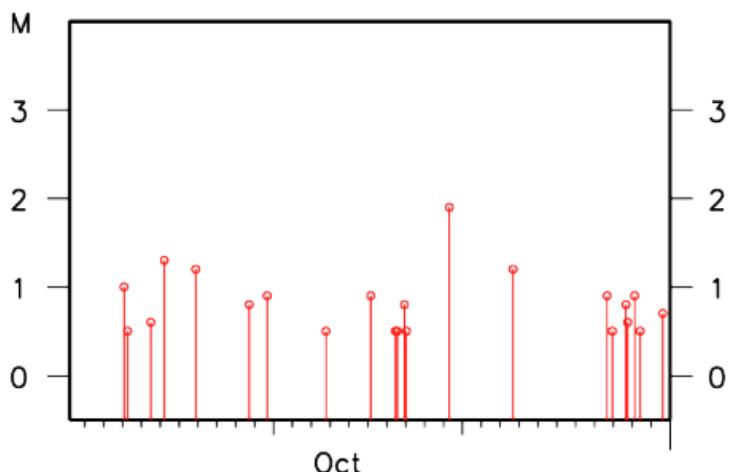
- (1) 琵琶湖西岸断層帯北部
- (2) 琵琶湖西岸断層帯南部
- (3) 三方・花折断層帯

(右上) 時空間分布図

震央分布図の矩形領域内の地震を南北の軸(縦軸)に投影し、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

(右下) 地震活動経過図(規模別)

震央分布図の矩形領域内の地震について、縦軸にマグニチュード、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。



琵琶湖西岸断層帯について

琵琶湖西岸断層帯は、滋賀県高島市(旧マキノ町)から大津市国分付近に至る断層帯です。全体として長さは約59kmで、北北東-南南西方向に延びており、断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層です。

琵琶湖西岸断層帯は、断層帯北部と南部の2つの区間に分かれて活動すると推定されますが、全体が1つの区間として活動する可能性もあります。

断層帯北部ではM7.1程度の地震が発生すると推定され、今後30年以内にそのような地震が発生する確率は1~3%と推定されます。

断層帯南部ではM7.5程度の地震が発生すると推定され、今後30年以内にそのような地震が発生する確率はほぼ0%と推定されます。

(地震調査研究推進本部の長期評価(2009)による。ただし、地震発生確率の算定基準日は2024年1月1日。)

(2)概況

10月に震央分布図中の矩形領域内で観測されたM2.0以上の地震は0回(前月1回)で、同領域内の地震で震度1以上の揺れは観測されませんでした。

3 地震一口メモ

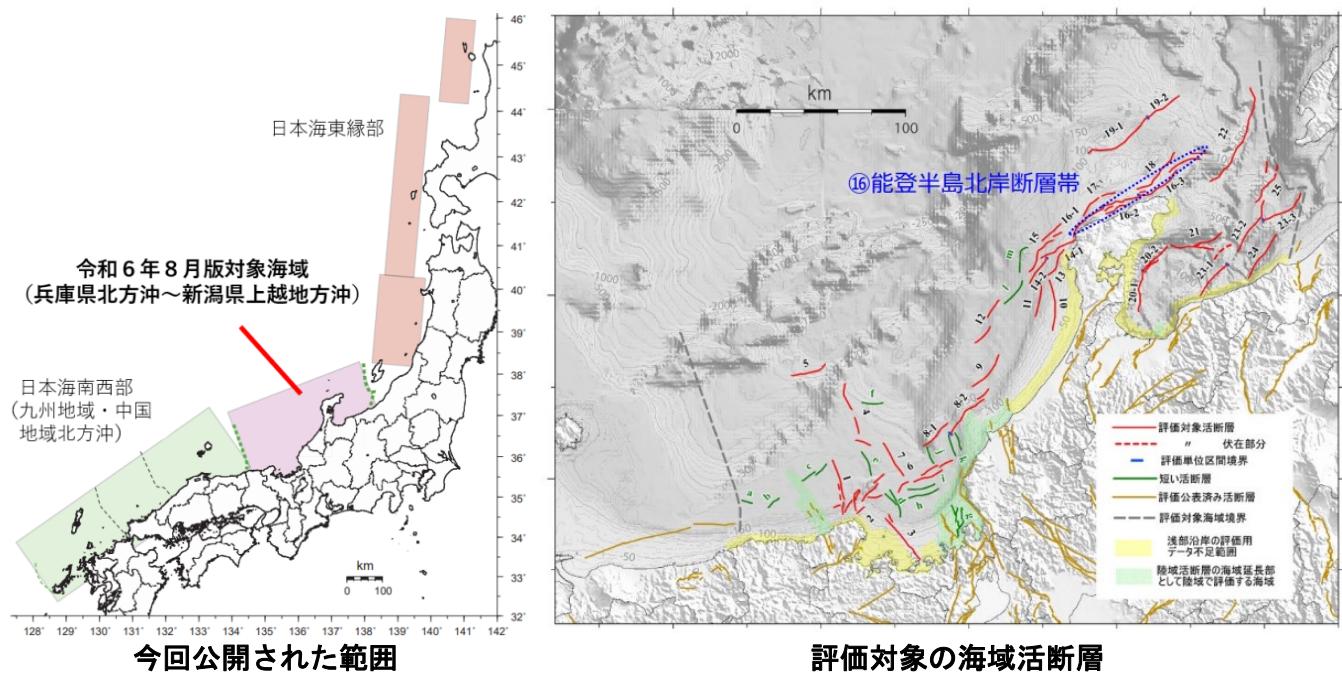
日本海側の海域活断層の長期評価 —兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖— の公表について

地震調査研究推進本部（以下、地震本部）では、社会的・経済的に大きな影響を与えると考えられる主要な活断層で発生する地震や海溝型地震を対象に、地震発生可能性の長期評価（以下、長期評価）し、その結果を公表しています。

一方、海域にも活断層が存在しており、それらが活動した際に地震動や津波による被害が発生する可能性がある事から地震本部では対象とする海域毎に「海域活断層の長期評価」を実施しています。地震本部では令和4年3月に「日本海南西部（九州地域・中国地域北方沖）」の長期評価を公表し、これより東方（近畿地方北方沖以東）についても評価・検討をすすめましたが、2024年1月1日の能登半島地震（M7.6）の発生を受けて速やかに防災対策にも利活用できるように兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖の海域活断層の長期評価を令和6年8月版として前倒しして公表しました。

概要

- ・九州地域・中国地域北方沖に続いて、兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖の海域活断層の評価を公表（日本海東縁部の長期評価は公表済だが、新潟県沖～東北地域～北海道地域の海域活断層についても今後公表を予定している）
- ・海域で実施された反射法地震探査データなどから活断層を認定し、位置・長さ・形状等を求め、評価対象海域における海域活断層の分布を得た
- ・今回は速やかに公表を行うため、断層の位置・長さ・形状・そこで発生する地震の規模等についての評価で、地震発生確率の評価は行っていない
- ・1月の能登半島地震は能登半島北岸断層帶とこれに隣接する断層が動いたと考えられる



今回公開された範囲

評価対象の海域活断層

地震調査研究推進本部公表資料より抜粋

地震調査研究推進本部HP 日本海側の海域活断層の長期評価

https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/offshore_active_faults/sea_of_japan/